

企業名： シークス

レポート名： 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できる。

統合報告書の2ページ目に企業理念が具体的に書かれているため、この企業に馴染みがない人でもわかりやすいと思われた。特に企業理念を大きく4つに分けていたのが非常に良かったと感じた。Theme, Mission, Target, Style ごとに簡潔に説明されていて、読み手に配慮したことが伝わってきた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できる。

シークスの強みの一つとして、顧客の様々なアウトソーシングに対応できることがあげられるとわかった。シークスは中華圏や東南アジアといった現在市場が急速に拡大している地域や、欧州や米州といった大市場地域に拠点を置いている。これによって、幅広い海外拠点網の有機的なグローバルネットワークを形成することを可能にしたのだ。すなわち、シークスの競争優位は有機的なグローバルネットワークにあると思われた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。

この報告書内にある会長メッセージや社長メッセージから、シークスは将来の市場性を見据え、より持続的に成長する分野の開拓に注力してきたことが理解できた。故に、時代ごとにどの分野が盛んかは変化するが、シークスはその変化に後れを取ることではないであろうと思われた。また、特に現在では、自動車業界を取り巻く環境が刻々と変化しているが、シークスはその変化に適応するよう企業体制を整えていることが分かった。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

ややそう思う。

統合報告書内においてこの項目に関することが他の項目に関してよりも具体的に書かれていなかったために、このような判断を下した。しかし会長メッセージの中に諸課題に取り組む人材育成の重要性について軽く触れており、問題解決能力は向上しそうな印象を覚えた。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

ある。

1、2、3の項目に比べ、圧倒的に4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できるかに関する説明が統合報告書内で不足している印象を受けた。従って、項目4に関する記述を増やすべきであると考えます。